

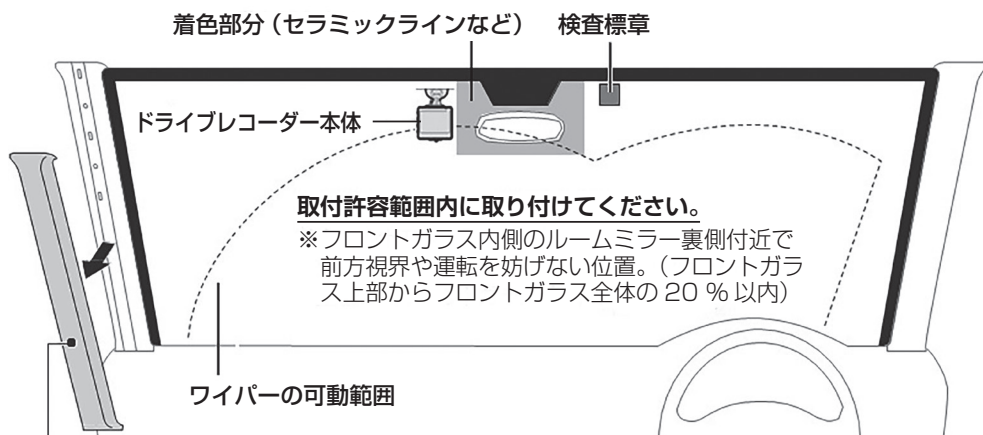
ドライブレコーダーの取り付けかた

ドライブレコーダーの取り付け位置について

■ 性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- フロントガラスの上部 20 % の範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲が映るように取り付けてください。雨天などのとき、鮮明に録画できない場合があります。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSDHC メモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けしてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、必ず取付許容範囲内（下図参照）に取り付けください。

※道路運送車両の保安基準 第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 39 条、第 117 条および第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。



配線する側のピラーカバーを取り外す（配線後は元に戻す）

- ピラーカバーの取り外し方は車種によって違います。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。